

こんな活動です

地域の力で子供たちのまなびを支援 - 自学自習の習慣や学力の定着を図る -

活動名

関係する学校名

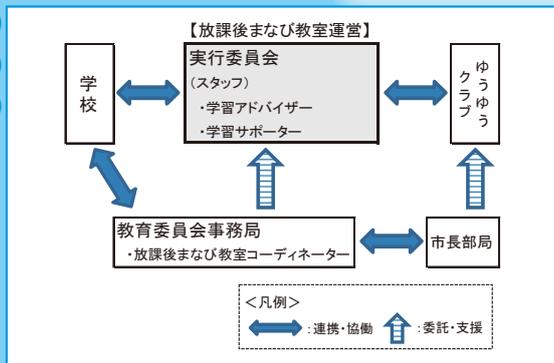
京都府京都市

嵯峨小学校放課後まなび教室

嵯峨小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
		0人	1人	44.3人	176日	19年度	有	無	無	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		教室		有	一体型					
土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携		
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数		

体制図



- 活動の概要・経緯
- 放課後における児童の自学自習を中心とした学習習慣の定着と安心・安全な居場所の充実を図るため、平成19年度に開設。
 - 平成19年度の開設当初から、授業実施期間中は週5日（月曜日～金曜日）実施しており、平成27年度は176日実施している。
 - 教室に来た児童は、参加カード提出後、まず宿題や自分で決めた課題等に取り組み、それが終わると読書、ゲーム等をして過ごしている。
 - スタッフは、小学校の元校長及び元教諭を中心に地域の方々約10名で構成されており、ローテーションを組み、連携・協働して安定した教室運営を行っている。
 - 校内及び隣接施設において、ゆうゆうクラブ（放課後児童健全育成事業）が実施されており、連携・協働を図っている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- スタッフは、挨拶を大事にしており、教室に入ってきた児童に自ら声掛けを行うように心掛けている。
- 教室に来た児童は、参加カード提出後、宿題や自分で決めた課題等に熱心に取り組んでいる。宿題等の後は、読書、ゲーム等をし、安心して教室での時間を過ごしている。
- スタッフは、教室環境を整え、児童を見守るとともに、学習の支援等を行っている。
- 学校の管理職、学級担任も時折、児童の見守り支援を行っている。
- 校内及び隣接施設において、ゆうゆうクラブが実施されている。放課後まなび教室登録児童のうち約3割がゆうゆうクラブにも登録しており、放課後まなび教室での活動後、ゆうゆうクラブに通っている。

【実施に当たっての工夫】

- 支援が必要な子供には出来るようになるまで個別対応を行うなど、スタッフが、個々の児童に応じた丁寧な対応を心掛けている。
- 自主的な学習習慣を身に付けられるように、学年ごとの学習用プリントを分かりやすい場所に多数用意したり、頑張ったことをシールで評価するカードを作成したりしている。
- 児童の状況等について、実行委員会、スタッフと学校の管理職、学級担任等が連絡を取り、連携・協働を図っている。
- 二つの教室を、ゆうゆうクラブに行く児童等が使う教室と、それ以外の児童が使用する教室とに分けて使用している。
- ゆうゆうクラブに参加する児童のため、黒板にゆうゆうクラブへ移動する時間を表示したうえで、時間になれば声掛けを行っている。

● 事業を実施しての効果・成果

- スタッフの個々の児童に応じた丁寧な対応により、児童は、宿題をしつかりと仕上げることが習慣化されるだけでなく、「分かる喜び」、「達成感」等を感じることができている。また、児童自ら学習に向かえるような配慮をスタッフが行うことで、児童が、自主的な学習習慣を身に付けてきている。さらに、スタッフは、学校と連携・協働しながら、ノートの整理、字の書き方等の支援も適宜行っており、成果が出ている。これらの結果として、当該児童の学力向上に寄与している。
- スタッフが、児童との信頼関係の下、挨拶や約束を守ることを大事にする取組を進めてきた結果、児童がしっかりと挨拶をできるようになり、約束事を守れるようになってきている。



放課後まなび教室での学習



学習用プリントを選ぶ児童